

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
 担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道4号 仙台拡幅（籠ノ瀬～鹿の又）		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県仙台市太白区郡山 至：宮城県仙台市太白区東郡山			延長	1.6 km	
事業概要 一般国道4号は東京都中央区から青森県青森市に至る総延長838.6 kmの主要な幹線道路である。このうち仙台拡幅（籠ノ瀬～鹿の又）は、仙台市太白区郡山地区における延長1.6 kmの立体化事業である。						
R3年度事業化		H7年度都市計画決定		用地未着手		工事未着手
全体事業費		約400億円		事業進捗率 (令和5年3月末時点)	約1%	供用済延長 - km
計画交通量		82,100台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 301/305 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 484/484 億円		基準年 令和5年
	(残事業)	事業費：296/300 億円 維持管理費：4.7/4.7 億円 更新費：-/- 億円		走行時間短縮便益：447/447 億円 走行経費減少便益：26/26 億円 交通事故減少便益：11/11 億円		
感度分析の結果 【事業全体】 交通量：B/C=1.4～1.7（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.4～1.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.5～1.6（事業期間 ±20%） 【残事業】 B/C=1.5～1.7（交通量 ±10%） B/C=1.6～1.8（事業費 ±10%） B/C=1.5～1.7（事業期間 ±20%）						
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・渋滞緩和により速達性が向上 （旅行速度：現況7.7 km/h→整備後48.1km/h） ②安全で安心できるくらしの確保 ・仙台市立病院（三次医療施設）へのアクセス性が向上 （名取市→仙台市立病院 現況16分→整備後13分） ③災害への備え ・宮城県緊急輸送道路における第1次緊急輸送道路ネットワークに位置付け。						
他7項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 ○仙台市長の意見 事業の継続実施に異議はありません。 一般国道4号仙台拡幅事業は、周辺地域の交通の円滑化や国道4号バイパスの渋滞緩和にも大きく寄与することが期待される事業であり、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、早期完成に向け推進いただきますようお願いいたします。 ○以下の団体等から、仙台拡幅（籠ノ瀬～鹿の又）の整備促進について要望あり ・宮城県知事 ・仙台市長 ・仙台都市圏広域行政推進協議会 ・宮城県道路利用者会議 ・仙台都市圏自動車専用道路整備促進期成会 ・国道4号拡幅改良（4車線）建設促進期成同盟会						

事業評価監視委員会の意見

対応方針（原案）の事業継続は妥当である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和3年事業化、用地進捗率0%、事業進捗率約1%（令和5年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 令和3年度に事業化され、路線測量、地質調査に着手。令和3年度より道路設計に着手。
- ・ 今後、道路設計完了後に、必要な手続きを経て用地買収に着手予定。
- ・ 全線の開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。

施設の構造や工法の変更等

新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。

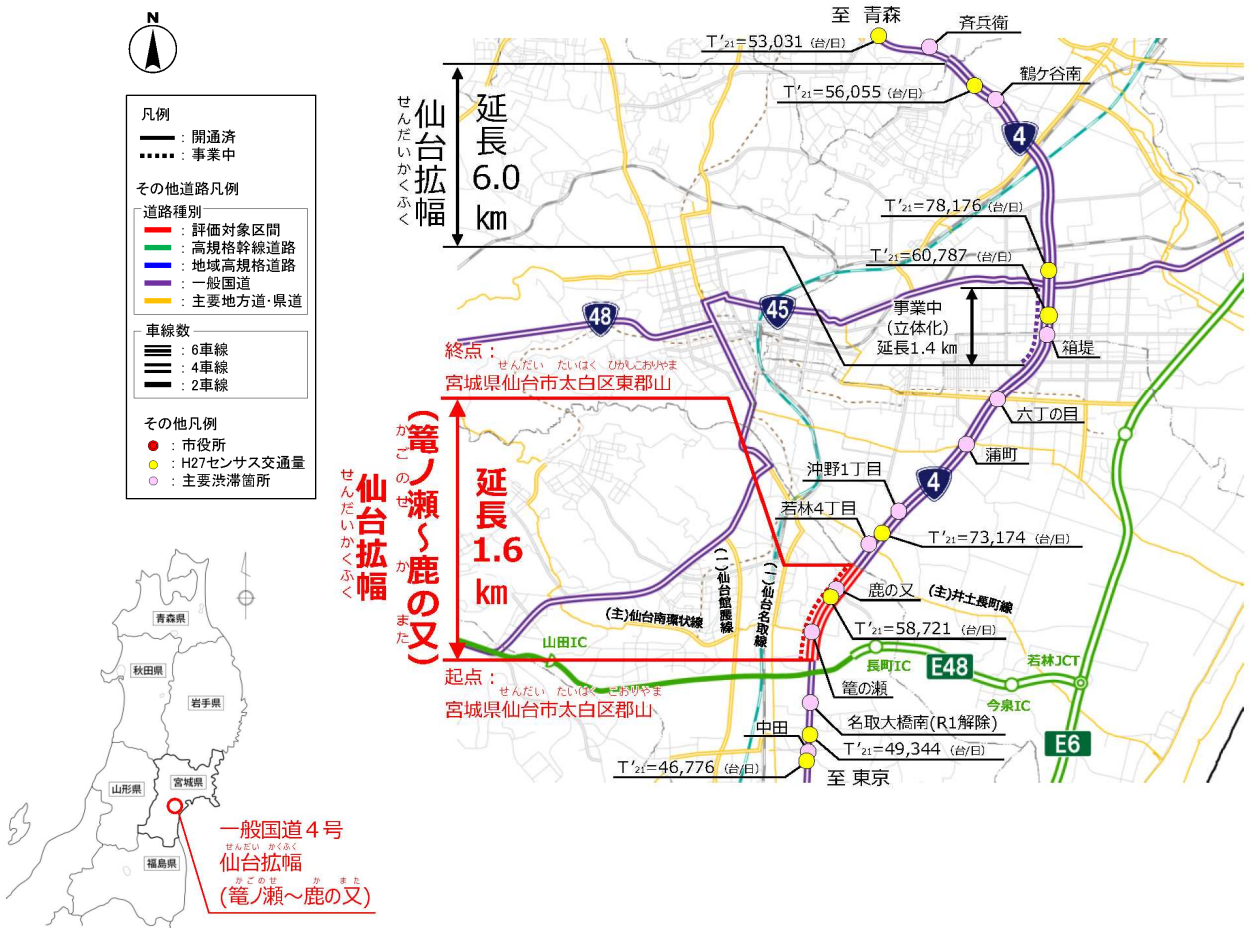
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

国道4号における交通混雑緩和、交通安全の確保及び沿道環境改善、救急搬送の効率化のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。